

授業科目名 (英訳)	会計学 Financial Accounting					担当者所属 職名・氏名	経営管理研究部 教授・徳賀 芳弘				
配当学年	1・2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 後期	曜時間	木/4・5 (隔週)	授業形態	講義	使用言語	日本語 英語
〔授業の概要・目的〕											
<p>本講義は、財務会計と管理会計の基礎理論を学習することを目的とします。財務会計とは、企業外部の利害関係者（投資家や債権者など）に情報を提供するために行われる会計のことです。財務会計の基礎理論を習得するためには、①財務会計情報の作成方法（会計ルール）を知る必要があります、そして②作成された会計情報を誰がどのように利用するのかについて、理解しなければなりません。他方、管理会計とは、経営者が経営管理を行うために使われる会計です。管理会計の基礎理論を習得するためには、①経営管理の考え方を学び、②会計を用いた管理の手法を理解する必要があります。講義は、素朴で身近な問題でありながら、財務会計・管理会計の本質に繋がっている現象を捉えて説明し、受講者間の討論を交えながら、講義を進めていきたいと思っております。時間があれば、英文財務諸表の見方についても解説したいと思っております。</p>											
〔到達目標〕											
<p>企業分析の前提となる会計に関する基礎的な知識の習得と、会計数値を用いた思考訓練を行いたいと考えています。経済新聞の会計関連記事を読んで一通りの理解ができるようになれば目標は達成されたと判断できます。</p>											
〔授業計画と内容〕											
<p>第1回：オリエンテーション(1) ①写像の装置としての会計、および②報告主体（経営者）の意図を反映する装置としての会計 第2回：オリエンテーション(2) 情報の縮約の装置としての会計 第3回：オリエンテーション(3) 会計における認識・測定の前提（写像の規約と限界） 第4回：財務会計と管理会計 第5回：意思決定のための管理会計 第6回：業績管理のための管理会計 第7回：中間テスト 第8回：財務会計(1) 貸借対照表と損益計算書 第9回：財務会計(2) ストックの計算書としての貸借対照表 企業の経済価値と純資産簿価の関係 第10回：財務会計(3) フローの計算書としての損益計算書 恒久利益と将来キャッシュフロー 第11回：財務会計(4) キャッシュフロー計算書 第12回：財務会計(5) 財務会計のインフラとしての関連諸法規（金融商品取引法、会社法、法人税法） 第13回：会計監査 会社の内部統制と会計監査 第14回：国際会計 国際会計基準と日本の会計基準 第15回：期末試験ただし、学習の理解度に応じて、若干変更する場合があります。</p>											
〔履修要件〕											
<p>会計学の入門的な知識を有していることが望ましいが、基礎的な話から始めるので必須ではありません。</p>											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
<p>中間テスト（30％）・期末テスト（50％）・小レポート（20％） 成績評価の観点および到達度の確認は以下の3つのポイントに関して行います。 ①基礎的な会計知識・②会計数値を巡る経営者の政策的思考・③経済新聞の理解</p>											
〔教科書〕											
<p>教科書はありません。毎回、講義前にレジュメとPPTスライドをクラスに上げておきます。</p>											

【参考書等】

講義中に適宜紹介します。

【授業外学習（予習・復習）等】

講義前に講義資料をクラスに上げておきますので、それらに必ず目を通して講義に臨むこと。また、講義の内容については自分で教科書などを活用して復習し、それでも分からない点がある場合には、下記のオフィス・アワーに徳賀研究室まで質問に来てください。

【その他（オフィスアワー等）】

研究室に来る場合は、事前にメールで連絡して下さい。(tokuga@econ.kyoto-u.ac.jp)

※オフィス・アワー実施の有無は,KULASIS で確認してください。

オフィス・アワー月曜日：昼休みおよび3限目（於：徳賀研究室）(tokuga@econ.kyoto-u.ac.jp)